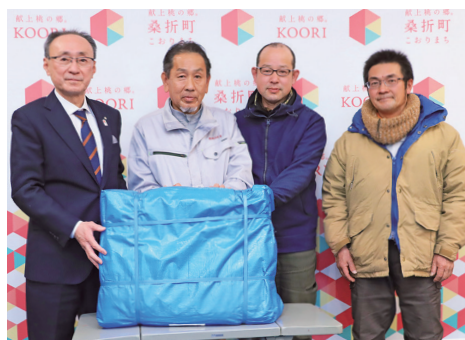


## 地 県瓦工事組合連合会寄附贈呈 震被災者へ、ブルーシート寄附

県瓦工事組合連合会が2月18日、同月13日に発生した福島県沖地震による被災者のためにと、ブルーシートを町に寄附しました。

桂山武会長は「桑折町では、瓦屋根が落ちたり、石塀が崩れ落ちたり、各所で被害が見受けられる。少しでもお役に立てれば」と話しました。高橋町長は「早急にお力添えをいただき、感謝申し上げます。一刻も早く被災した皆さんの元へお配りさせていただく。これからも、新庁舎の防災拠点機能を発揮し、町民の皆さんに頼りにされる役場を目指していきたい」とお礼を述べました。



▲寄附いただいたブルーシートは、大きな被害を受けた世帯に無償で提供しました



▲「ありがとうございます」と笑顔でデコポンを受け取る園児たち

## お 熊本県果実農業協同組合連合会寄附贈呈 おいしいデコポンを子どもたちへ

2月13日の福島県沖地震発生を受けて、桑折町の子どもたちを元気にしたいと、熊本県果実農業協同組合連合会から2月22日、醸芳幼稚園の子どもたちへデコポンが贈られました。

当日は、卸先である福島中央青果卸売株式会社の横山広一常務取締役が来園。「地震怖かったよね。片付けも大変だったよね。家族みんなで新鮮なデコポンを食べて元気になってね」と呼び掛けました。齋藤小百合園長は「熊本県の皆さんには、10年前の震災時にもぬいぐるみを送っていただいた。みんなで感謝しましょうね」と話しました。

## 醸 桑折ライオンズクラブ寄附贈呈 中生に新しい本をプレゼント

桑折ライオンズクラブが3月8日、醸芳中学校図書室に設置してあるライオンズ文庫の新しい図書の購入費用として、5万円を贈呈しました。

地域の子どもの知見向上を目的としたこの事業は、今回で6年目。当日は、中学校の図書室で、後藤忠郎会長から図書委員長の福田璃旺合さんへ目録が贈られました。福田さんは「本が大好きで、1か月に3冊くらいの本を読んでいる。桑折ライオンズクラブの皆さんのおかげで、もっと本を好きになる生徒が増えると思う」と話しました。



▲後藤会長から目録を受け取り、「新しい本が増えてうれしい」と話す福田さん



▲真心こもった手作りガーゼを受け取り、「大切に使います」と話す岡崎さん

## 地 創生婦人会寄附贈呈 域ぐるみで子育てママを応援

創生婦人会の「出会い・子育て応援委員会」が3月12日、地域の宝である赤ちゃんのためにと、約100枚の手作りガーゼを町に寄附しました。会員一人一人が心をこめて作るガーゼは、役場へ母子手帳を受け取りに来た保護者の皆さんに配られています。

5月に出産を迎える岡崎恵子さんは「ガーゼはあらゆる場面で役立つのでとても助かる。沐浴の時に使いたい。最近転入してきたが、桑折町は育児パッケージがもらえたり、健診で一人一人にゆっくり向き合ってくれたり、子育て支援が手厚くてうれしい」とほほ笑みました。